

大甕幼稚園の現状について

学校教育課・こども育成課

1 大甕幼稚園の現状

幼稚園は学区がないため、大甕及び太田地区以外の区域の園児もいますが、園児数は減少傾向にあります。

(1) 大甕幼稚園園児数の推移

(各年5月1日現在 単位:人)

R4	R5	R6	R7	R8
55	44	41	36	32

(2) 大甕幼稚園園児数の内訳

(単位:人)

	3歳	4歳	5歳
①R8.7.1時点	9	12	11
②R7.7.1時点	12	13	11
増減(①-②)	-3	-1	0

(3) 大甕地区児童及び太田地区児童の通園状況(令和8年7月1日時点)

(単位:人)

大甕地区			0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
	大甕地区のこどもの数		15	8	13	16	15	12	79
	うち就園しているこどもの数		7	5	11	16	15	12	66
	就園先 内訳	大甕幼稚園園児数	—	—	—	5	3	5	13
		その他保育施設の園児数	7	5	11	11	12	7	53

(単位:人)

太田地区			0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
	太田地区のこどもの数		9	8	12	9	13	12	63
	うち就園しているこどもの数		3	5	10	9	13	12	52
	就園先 内訳	大甕幼稚園園児数	—	—	—	1	3	0	4
		その他保育施設の園児数	3	5	10	8	10	12	48

幼保小連携・接続とは？

幼保小連携・接続の目的は「子ども達が小学校入学という環境の変化につまずくことなく、幼児期の遊びや生活の中で育んだ学びを小学校での学びにスムーズにつなげていくこと」です。

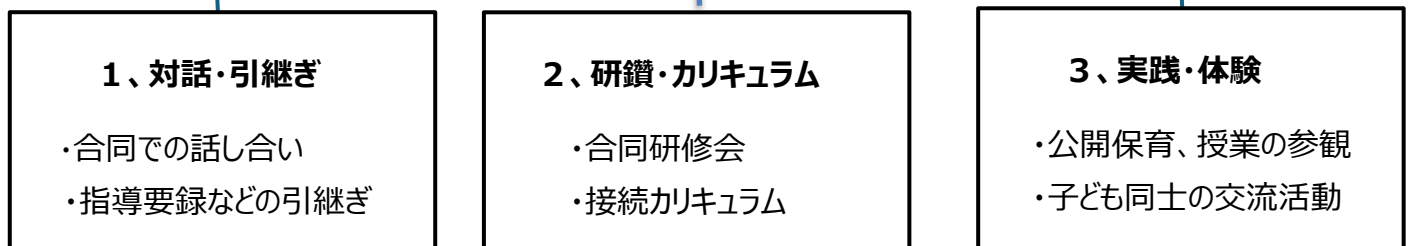
目指すは

- 『子ども』 ○小学校をスムーズにスタート！ ○安心して遊ぶ！学ぶ！
『先生』 ○年長児から小学校 1 年生までの子どもの育ちと学びをすべての先生が共有



【幼保小連携・接続の本質】
園と学校の先生同士の「共通理解」
～子どもたちの『育ちのバトン』をどう繋ぐか～

共通理解を図る手段



子ども達が安心して次のステップへ進めるように、園と学校が一つになって支えていけるように連携していきます。

※幼保小連携は、すべての公立・私立の幼稚園、保育園、認定こども園において、園児が就学する小学校と行っています。

■ 学校再編の方向性決定後の目指す方針と具体的な検討事項

義務教育学校への移行を見据え、就学前教育から小学校教育への円滑な接続を推進し、子どもたちの健やかな学びと育ちを促進します。

新しい義務教育学校と、大甕幼稚園を含む近隣の幼稚園・保育所等との連携のあり方（教員間の情報交換、園児・児童の交流活動など）について検討します。